

令和 7・8 年度 複合構造委員会 第 1 回委員会 議事録

日 時：令和 7(2025)年 6 月 26 日(木) 14:00～17:10

場 所：土木学会講堂と Zoom の併用

出席者：

大山委員長，北根副委員長，平幹事長，秋本委員(W)，安藤委員，池田委員，石川委員，今川委員(W)，岩波委員，大垣委員(W)，大久保委員，大西委員(W)，奥井委員，上原子委員(W)，~~本田委員~~，栗橋委員，~~小森委員~~，~~齊藤(成)委員~~，齋藤(隆)委員，~~桜庭委員~~，山東委員，下村委員，杉浦委員，鈴木委員，高嶋委員，瀧本委員，谷口委員，玉野委員，利根川委員，中野委員(W)，中村委員，新名委員(W)，西崎委員，仁平委員，橋本委員(W)，長谷川委員，櫛原委員，畑委員，林委員，古市委員，古内委員(W)，牧委員，松井委員，松本(崇)委員，松本(高)委員(W)，松本(幸)委員(W)，溝江委員，~~山田委員~~，川端幹事，塩畑幹事(W)，高橋幹事，内藤幹事，~~中田幹事~~，中原幹事，中村(一)幹事，西村幹事，橋本幹事(W)，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，~~山本幹事~~，横田幹事，上田顧問(W)，島顧問，中島顧問，~~中村顧問~~，~~藤井顧問~~，趙顧問(W)，三ツ木顧問，横田顧問

(敬称略)＜W：オンライン参加，取消線：欠席＞

配布資料：

- 委 1-0 令和 7・8 年度 第 1 回 複合構造委員会 議事次第
- 委 1-1 令和 7・8 年度 複合構造委員会 委員名簿
- 委 1-2 令和 5・6 年度 第 4 回 複合構造委員会 議事録(案)
- 委 1-3 令和 7(2025)年度 複合構造委員会スケジュール
- 委 1-4-1 常設小委員会 委員構成
- 委 1-4-2 第一種小委員会 委員構成
- 委 1-5 新設委員会 設立趣意書
- 委 1-6 複合構造委員会 小委員会一覧
- 委 1-7 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委 1-8 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 委 1-9 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 委 1-10 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 委 1-11 H221 樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会
- 委 1-12 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 委 1-13 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 委 1-14 新規小委員会募集について
- 委 1-15-1 令和 5・6 年度 第 12 回 複合構造委員会幹事会 議事録
- 委 1-15-2 令和 7・8 年度 第 1 回 複合構造委員会幹事会 議事録(案)
- 委 1-16 複合構造委員会 20 周年記念式典(H008)
- 委 1-17 令和 7 年度 土木学会全国大会・年次学術講演会(共通セッション)
- 委 1-18 令和 7 年度 土木学会全国大会・研究討論会
- 委 1-19 第 16 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム(H001)
- 委 1-20 土木学会論文集特集号編集小委員会 (H005)
- 委 1-21 複合構造の継続教育小委員会 (H006)

委 1-22 300 年暴露プロジェクト小委員会 (H007)

委 1-23 令和 6 年度 委員会決算

委 1-24 令和 6(2024)年度 活動度評価結果

委 1-25 令和 7 年度 委員会予算(案)

委 1-26 出版関連報告

委 1-27 その他事項について

議事内容：

1. 委員長挨拶

大山委員長より、開会の挨拶がなされた。挨拶に合わせて、複合構造委員会設立 20 周年式典や複合構造標準示方書の発刊、講習会開催など今年度の行事について紹介がなされた。

2. 委員構成、幹事構成について

大山委員長より、委 1-1 の委員構成について、名簿の通り、副委員長、幹事長、委員、幹事および顧問の方々を推薦し、土木学会長から委嘱されたことが委員会で確認された。

3. 自己紹介

各委員から自己紹介がなされた。

4. 複合構造委員会の運営について

平幹事長より、複合構造委員会の目的や事業内容、細則などの委員会運営について説明がなされた。

さらに、以下の補足説明がなされた。

- ・ 細則等の詳細は複合構造委員会ホームページに掲載されている。
- ・ 任期を 4 月からにすると異動などに伴い委員推薦が難しいこともあるため、令和 9・10 年度体制から、任期を 6 月からに変更することを考えている。なお、6 月に任期を開始している他委員会(鋼構造委員会など)があることは確認済みである。

5. 第 4 回委員会(令和 5・6 年度)議事録案確認

平幹事長より、委 1-2 に基づき第 4 回委員会(令和 5・6 年度)の議事録(案)の確認がなされ、承認された。

6. 令和 7 年度委員会スケジュール

平幹事長より、委 1-3 に基づき令和 7 年度委員会スケジュール(案)について説明がなされた。

- ・ 第 2 回委員会は、2025 年 12 月 4 日(木)の 11:30～14:30(昼食付)開催とし、その後、複合構造委員会設立 20 周年記念式典(15:00～17:30)を開催する予定としている。

【審議事項】

7. 審議事項

① 常設小委員会委員構成

平幹事長より、委 1-4-1 に基づき常設小委員会委員構成について説明がなされ、以下の修正を行うことで承認された。

- ・ 委 1-4-1, H007 の委員リストを修正する(大山委員長が重複している).

② 第一種小委員会委員構成

平幹事長より, 委 1-4-2 について説明がなされ, 承認された.

③ 第二種小委員会 新規第二種小委員会の設立について

内藤幹事より, 委 1-5 に基づき新規第二種小委員会(AI を活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会)の設立について説明がなされ, 承認された. なお, 以下の議論がなされた.

- ・ チャレンジングな研究であるが, 実際にデジタルツインを実装するためにはデータを共有するプラットフォームを作る必要があるが, 何か考えはあるのか.
→小委員会では, まず, 機械学習の手法などを検討する基礎研究を想定している. 本トピックは実装に向けて様々な課題があり, 長期的なテーマになると考えており, ご指摘の点は実装に向けた今後の課題としたい.

【報告事項】

8. 小委員会報告

H101 複合構造標準示方書小委員会

池田委員(H101 幹事長)より, 委 1-7 に基づき, H101 小委員会について説明がなされた. 説明後, 以下の質疑応答がなされた.

- ・ 示方書発刊以降, 委員会そのものは継続されるのか.
→示方書小委員会は, 引き続き, 活動を行う予定である. あと, 今回発刊される示方書に準拠した設計例を作成する別の小委員会を設立することも視野に入れている.

H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会

牧委員(H109 委員長)より, 委 1-8 に基づき, H109 小委員会について説明がなされた.

- ・ アンケート結果については新規小委員会の募集に関するテーマなどにも反映させていきたい.

H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会

西崎委員(H111 委員長)より, 委 1-9 に基づき, H111 小委員会について説明がなされた. 説明後, 以下の質疑応答がなされた.

- ・ 具体的な活動内容についてもう少し説明頂きたい.
→パネルディスカッション WG は, 2026 年 2 月に開催予定のパネルディスカッションの企画を行っている. 一方, FRP 材料 WG では原単位の調査, 複合構造 WG では複合構造を対象にした CO₂ 排出量の試算等を進める予定である. しかし, 他委員会(構造工学, 鋼構造ならびにコンクリート委員会)との連携もあり, 調整を図っている段階である.
- ・ 他委員会とはどのように連携しているのか.
→主要メンバーが構造工学委員会の小委員会に所属しており, 連携体制を整えている.

H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会

川端幹事(H220 幹事長)より、委 1-10 に基づき、H220 小委員会について説明がなされた。そして、2025 年 10 月 31 日(金)午後に報告会を開催するため、積極的に参加頂きたい旨の依頼がなされた。

H221 樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会

大垣委員(H221 委員長)より、委 1-11 に基づき、H221 小委員会について説明がなされた。説明後、以下の質疑応答がなされた。

- ・ 講習会は今年度開催を予定しているか。
→2026 年 1～3 月の講習会を想定している。

H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会

内藤幹事(H222 委員長)より、委 1-12 に基づき H222 小委員会について説明がなされた。説明後、以下の質疑応答がなされた。

- ・ 合成桁は扱わないのか。
→別委員会で対象にしている部分もあるため現時点では対象としていない。
- ・ 実験について、接合部の鉄筋などの取扱いはどうようにするのか。
→詳細は、今後詰める予定である。

H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会

今川委員(H223 幹事長)より、委 1-13 に基づき H223 小委員会について説明がなされた。今年度の土木学会全国大会での研究討論会(2025 年 9 月 8 日(月) 15:30～17:30)を予定しているため、聴講の依頼がなされた。

新規小委員会募集について

平幹事長より、委 1-14 に基づいて新規小委員会の募集について説明がなされた。なお、資料には春と秋にテーマを募集するスケジュールが記載されているが、時期を問わず、小委員会の候補となるご意見を皆様から受け付けている。

9. 幹事会報告(第 12 回幹事会(R5・6)、第 1 回幹事会(R7・8)議事録)

平幹事長より、委 1-15-1、委 1-15-2 について説明がなされた。

10. 複合構造委員会 20 周年記念式典

皆田幹事より、委 1-16 に基づいて説明がなされた。

- ・ 参加費 10,000 円(式典参加費、祝賀会参加費)を予定している。
- ・ 記念誌について、歴代委員長や各小委員会に執筆依頼を予定している。
- ・ パネルディスカッションでは、「複合構造の今後 2025～複合構造委員会の進むべき方向性～(仮)」として、次世代の複合構造を担う技術者による議論を行うことを予定している。
- ・ 式典への協力依頼について今後連絡があるため、ご協力頂きたい。

11. 令和 7 年度 土木学会全国大会・年次学術講演会(共通セッション)

皆田幹事より、委 1-17 に基づいて説明がなされた。

- ・ 令和 7 年度全国大会・年次学術講演会では、学生はポスター発表(2025 年 9 月 12 日(金)午前)、社会人は口頭発表(同日午後)という形となった。
- ・ 合計で 62 件であり、近年で最も多い発表件数である。
- ・ プログラムは、既に、土木学会ホームページに掲載されている。座長については内諾を得ており、近日中に公開される予定である。

12. 令和 7 年度 土木学会全国大会・研究討論会

大久保委員より、委 1-18 に基づいて説明がなされた。

- ・ 「弾性合成桁設計法の確立に向けて一床版取替え工事の救世主！」と題して研究討論会を予定している。
- ・ 2025 年 9 月 8 日(月)の 15:30~17:30 のオンライン配信となっている。今年度は、全ての研究討論会がオンライン配信のみである。
- ・ 配布資料無(配信のみ)、後日配信無を予定している。

13. 第 16 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム

北根副委員長(H001 委員長)より、委 1-19 に基づいて説明がなされた。

- ・ 11/26-27, 建築会館ホールで開催を予定している。
- ・ 講演要旨 69 件の投稿があった。今後最終原稿の提出締切が 9/12 である。

14. 土木学会論文集特集号編集小委員会

今川委員(H005 幹事長)より、委 1-20 に基づいて説明がなされた。

- ・ 17 件の投稿を受け付け、最終的に 14 編を採択した。内訳は一般論文 8 編、一般報告 6 編であり、加えて招待論文 1 編、小委員会報告 1 編(H110)が公開される。
- ・ 論文は 6 月末に公開される予定である。

15. 複合構造の継続教育小委員会

中村(一)幹事(H006 委員長)より、委 1-21 に基づいて説明がなされた。

- ・ 2025 年 10 月 14 日(火)、「第 9 回 若手技術者のための複合構造セミナー(案)」と題して、土木学会講堂+オンラインで講演形式の開催を予定している。
- ・ 奥井委員、古市委員に講師を依頼し、承諾を得ている。
- ・ 2026 年 2 月 10 日(火)午後、H111 のパネルディスカッションを開催し、H006 でサポートする予定である。内容については今後詰める予定である。

16. 300 年暴露プロジェクト小委員会

平幹事長(H007 幹事長)より、委 1-22 に基づいて説明がなされた。説明の後、以下の質疑応答がなされた。

- ・ 押抜き試験体では 3 年ごとに弾性範囲で載荷することが予定されているが、同一試験体で実施する予定か。
→同一試験体で載荷、暴露、載荷を繰り返して実施する。

17. 令和 6 年度 委員会決算

平幹事長より、委 1-23 に基づいて説明があった。

18. 令和 6 年度 委員会活動度評価結果

平幹事長より、委 1-24 に基づいて説明がなされた。

19. 令和 7 年度 委員会予算(案)

平幹事長より、委 1-25 に基づいて説明がなされ、調査研究費は、昨年度の委員会活動評価結果に基づいて、61.4 万円となった。調査研究拡充支援金は 7 月頃に確定する予定であり、確定後、予算(案)についてメール審議を行う予定である。

20. 出版関係報告

平幹事長より、委 1-26 に基づいて説明がなされた。

21. その他

平幹事長より、委 1-27 に基づいて以下の項目について説明がなされた。

・ 論説委員会への委員選出について

松本高志委員に依頼し、土木学会に連絡したことが報告された。

・ 鋼合成構造標準示方書 施工編(改定案)の意見照会について

委員からの意見を取りまとめ、鋼構造委員会に近日中に回答する予定であることが報告された。

・ 令和 8 年度 文部科学大臣表彰の推薦について

周知・検討した結果、推薦無しとしたことが報告された。

・ 構造系三委員会意見交換

構造系三委員会(構造工学委員会、鋼構造委員会、複合構造委員会)の委員長、副委員長ならびに幹事長にて、活動の効率化や委員会連携のための意見交換を実施しており、第 3 回を 2025 年 4 月 25 日(月)に開催した。研究成果や技術開発成果の公表、継続教育プログラムの実施時期の調整などについて議論がなされたことが報告された。第 4 回を 2025 年 7 月 28 日(月)に開催予定である。

報告の後、以下のような議論がなされた。

- ・ 示方書についての議論もなされているのか。
→現時点ではない。示方書については示方書連絡調整会議で議論されている。
- ・ 若手技術者が減少している中で、若手が効率的に活動できるように意見交換を行っている。
- ・ コンクリート委員会も含めた議論も進められているのか？構造系ということであれば、木材系もあるのでは？
→現時点では第 I 部門という枠組みで議論が行われている。次回会議では複合構造委員会が議論する内容を示すので、コンクリート委員会なども含めた議論にすることを提案したいと思う。

22. 閉会挨拶

北根副委員長から、閉会挨拶がなされた。

以上
(記録：川端)

